

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス キッズプレイスタかなわだい

支援プログラム

作成日

令和6年

3月

20日

法人（事業所）理念		子どもたちに笑顔を 家族に希望を 安心して羽ばたける社会を										
支援方針		子どもたちが生まれながら持っている才能と可能性を最大限に発揮させる										
営業時間(平日)		10 14	時	30 00	分から	12 18	時	30 00	分まで			
営業時間(祝日・長期休み期間)		10 13	時	30 00	分から	12 17	時	30 30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの習得…食事・整容・排泄・着脱・片付け等に関するプログラム 生活リズムや生活習慣の形成…定期的な心身の把握(検温)、構造化を意識した支援提供、ABAなどによるリフレーミング、SSTなどによる生活習慣獲得、生活におけるマネジメントスキルなどに関するプログラム										
	運動・感覚	ライフキネティック…粗大運動・協調運動・眼球運動・バランス運動・感覚機能・ボディイメージ・リズム運動などに関するプログラム 個別学習…視覚機能・感覚機能(触覚、聴覚など)・空間認知・微細運動・協応運動などに関するプログラム LEGO…微細運動、空間認知、創造性などに関するプログラム 祝日・長期休みプログラム…アスレチック、公園、プールなど運動に関するイベントプログラム										
	認知・行動	個別学習…色・形・大きさの認知、空間の認知、身体部位、感情、時間、天気、日付、季節、平仮名、片仮名、数、四則計算、図形、学校の学習フォロー、就労に向けての自立支援に関するプログラム LEGO…空間認知、協同制作に関するプログラム ライフキネティック…認知機能トレーニング、作業記憶トレーニング、理解力トレーニング、集団行動、協力ゲーム(勝敗)などに関するプログラム										
	言語 コミュニケーション	個別学習…非言語(絵カード/身振り/指さし/サイン/ジェスチャー/タブレット)・言語(名詞/動詞/形容詞/助詞/2語文/3語文)・指示の意図理解、聴覚トレーニング、文字の読み書き、文章読解、SST(感情・行動のコントロール、アンガーマネジメントなど)に関するプログラム LEGO…協同制作、作品紹介、プレゼンテーションなどに関するプログラム ライフキネティック…言語表出トレーニング、集団行動、協力ゲーム(勝敗)、ルールなどに関するプログラム										
	人間関係 社会性	個別学習…自己理解、SST(集団、園、学校、地域、家庭)に関するプログラム LEGO…協同制作に関するプログラム ライフキネティック…協同運動に関するプログラム 自由時間・祝日・長期休みプログラム…遊びへの介入(一人遊び、並行遊び、連合遊び、協同遊び)、仲間づくり、公共機関・公共施設への適応訓練、体験活動に関するプログラム										
家族支援		・保護者に支援場面の観察や参加等の機会を提供した上で、本児の特性や、特性を踏まえた関わり方等に関して相談・説明・助言の実施 ・児童の発達・支援内容・家庭生活・集団生活(園や学校など)・兄弟児・制度に関する相談・助言援助をオンライン又は対面で実施						移行支援		・保育園・幼稚園・インターナショナルスクール・学校等への訪問、会議、就学相談シートの記入などの情報連携 ・事業所で支援し、習得した事が他の場所でも般化できるように情報共有		
地域支援・地域連携		・地域の公園や博物館、自然教育園などへの課外学習 ・地域のコンビニエンスストア、スーパーでの買い物体験										

<p>職員の質の向上①</p>	<p>教育・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育と研修の充実：定期的な研修を実施し、最新の知識やスキルを習得できる機会を提供する。 ・適切な評価とフィードバック：職員の業績の正当評価、建設的なフィードバックによりモチベーション向上 ・コミュニケーションの促進：職場内での円滑な情報共有や意見交換の場を設け、職員同士の信頼関係強化。 ・働きやすい環境の整備：福利厚生を充実を図る。 ・ポジティブな職場文化の醸成：職員の意見を尊重し、多様性を受け入れる文化を推進する。 ・子どもの権利と福祉に関する教育：職員が児童福祉に関連する法律や規範理解、反映できるよう、定期的な研修を実施。 ・虐待防止と対応スキルの習得：子どもの虐待リスクを早期に発見し、適切に対応する方法を学ぶ研修を行う。 ・施設の理念と目標の共有：施設が目指す価値観や目標を新人に明確に伝え、職務への理解共感を深める。 ・子どもとの信頼関係構築の方法：初めての現場でも子どもたちと安心感のある関係を築けるスキルを指導する。 ・法令と倫理研修の定期的な実施：児童福祉法や関連規定に関する基礎知識を学び、倫理的な判断力を育む。 ・ロールプレイ研修：ロールプレイを通じて、対応力を高める。 ・緊急対応能力の育成：健康問題や災害時の迅速な対処方法について具体的なシミュレーションを行う。 ・職員間のチームワーク向上：情報共有や業務効率化のためのコミュニケーションスキル研修。 ・ストレス管理とセルフケア：職員自身のメンタルケアや職務のストレス対処法を習得するプログラム。 ・ケーススタディの共有（理解の浸透） ・メンター制度の活用：経験豊富な職員をメンターとして配置し、現場でのサポートや相談の場を提供する。 ・研修やスキルアップのサポート：転換の準備として必要なスキルや知識を習得するための研修や教育プログラムを提供する。 ・コミュニケーションの強化：転換プロセスについて職員に十分な説明を行い、疑問や不安を解消する。 ・メンター制度の導入：正職員になる際の責任や役割に慣れるため、経験豊富な職員がサポートするメンター制度を活用する。
<p>職員の質の向上②</p>	<p>福利厚生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法に基づき、年1回以上の健康診断を計画的に実施。 ・産業医（アイデス・クリニック）との連携：専門医を配置。 <p>非正規職員から正職員への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確な転換基準の設定：正職員への転換に必要な基準や条件（例：勤務期間、業績評価、スキルの習得）を明確にし、透明性を確保する。 ・評価プロセスの公平性：転換の決定に際して、個々の職員が公平に評価される仕組みを構築する。（評価制度） ・正職員になることで受けられる福利厚生や待遇の向上について具体的に説明する。 ・転換後のフォローアップ：正職員としての業務に適応するための定期的な面談やサポートを提供し、職場環境の改善を図る。 <p>業務効率化のためのICT活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル記録の管理：子どもたちの支援計画や成長記録を電子化（カイボケ導入）し、迅速に情報を共有・更新できる仕組みを構築。 ・オンライン会議や研修の実施：職員間での情報共有や研修をリモートで実施できるプラットフォームを活用。（ジョブアカデミー等） <p>情報セキュリティの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ研修：職員が安全なICTの運用を理解するための教育を定期的実施。 ・ジョブアカデミーでのWEB研修(スマホ・タブレット・パソコン使用) ・事故・トラブル発生時の基本対応フロー策定・定期的なシミュレーション研修実施 ・研修の導入で即戦力化：新規採用職員を早期に現場に適応させるため、効率的な研修プログラム(ジョブアカデミー)の用意。
<p>主な行事等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課外活動に関するイベント(プール、動物園、博物館、科学館、水族館、アスレチック、自然教育園など) ・制作に関するイベント(季節の制作、感覚遊びなど) ・季節に関するイベント(クリスマス会、夏祭り、ハロウィンなど) ・学習に関するイベント(実験、映画鑑賞など) ・運動に関するイベント(ボーリングなど) ・自立支援に関するイベント(調理実習、掃除など)